

2016年4月1日  
株式会社日立製作所  
執行役社長兼 CEO 東原敏昭

## 日立製作所 2016 年度 4 月入社式 社長メッセージ(抜粋)

皆さん、入社おめでとうございます。日立製作所を代表して皆さんを心から歓迎します。  
今日から日立製作所の一員として第一歩を踏み出される皆さんに、私から3つのお話をします。

### ■日立の企業理念と創業の精神について

日立製作所は、1910年にいわゆるベンチャー企業として始まりました。長い歴史の中で社員たちに培われてきたものが、「和」「誠」「開拓者精神」の日立創業の精神であり、現在まで日立グループの社員に大切に受け継がれています。過去の歴史の中では何度も大きな困難に見舞われてきましたが、そのたびに社員全員が一丸となって困難に立ち向かい、これを克服して、さらに大きく成長してきたのです。こうして受け継がれてきた企業理念や日立創業の精神を、皆さんにも理解し、共有していただきたいと思えます。

### ■今後の日立の成長に向けて

私たちを取り巻く環境はグローバルに日々変化しています。これまでは「環境に配慮した、安くて丈夫な空調機器が欲しい」というように、お客様から具体的な仕様を示されることが大半でした。しかし、最近では、「料理をおいしく食べてもらえる空間を実現したい」というように、「手段は任せるが、実現したいことはこうだ」、という要望が増えてきました。つまり、「モノ」ではなく「コト」を追求されるようになってきているのです。このことは、お客様のさらに先のお客様の考えも汲み取り提案しないと事業が成り立たなくなかった、ということの意味します。

私たちは、産業機器、材料といったプロダクツ、金融や公共分野におけるシステム・インテグレーション、そして鉄道や原子力などの大規模プロジェクトでの経験を有しています。さらにITと制御技術をもつなど、きわめて有利な状況にあります。日立は製品・インフラ、そこにITと制御技術を組み合わせた社会イノベーション事業をすでに展開しており、これまでの経験をもとに新しい「デジタルソリューション」分野で大きく飛躍したいと考えています。

昨日まで日立は、製品別のカンパニー制を導入していました。しかし、市場の変化に迅速に対応し、日立がさらに成長するためには、市場にあわせた事業体制にすることが必要となります。そこで、お客様ごとの特性にきめ細やかに対応するフロント、高度なサービスを提供するために必要不可欠なITや制御技術などのプラットフォーム、そして競争力ある製品を作り上げるプロダクト、という新たな考え方で成長をめざしたのが、今回導入したビジネスユニットです。

12のビジネスユニットを中心に、国内なら支社、海外なら地域総代表がフロントと一体となり、地域にあったソリューションを展開していきます。日立は新体制のもと、ベースとなるプラットフォームと製品のさらなる強化を図ると同時に、フロントBUがこれらを組み合わせ、「イノベーション」をサービスとして提供していくことで、急速に成長するIoTやデジタルソリューションの領域における競争優位性を高めていきます。

新しい時代を皆さんと一緒に切り開き、日立と一緒に成長させたいと思えます。

## ■皆さんに一人ひとりに期待すること

変化を捉え、この先どのようなことが起きるかを先読みし、そして先手を打つことが重要です。そのためには、あらゆることに関心を持ち、変化を感じるセンサーを常に磨くことが大切です。そして、あらゆる事象を「自分には関係のないひとごと」としてではなく、「自分ごと」としてとらえ、私ならどう考え、どう行動する。I do, I will と一人称で主体的に活動することに心がけてください。

今年入社した皆さんが、成長しつづけ、世界に通用するプロフェッショナルな人財へ成長し、グローバルに活躍されることを期待しています。

日立には、皆さんが思い切りチャレンジできる幅広いフィールドがあります。高い志を持って、おおいに挑戦してください。

技術を通じて社会に貢献する日立であるために、また世界中のお客様から信頼されるイノベーションパートナーとなるために、失敗を恐れず、一緒に挑戦していきましょう。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---